

# 「節目」「地方創生」「防災・減災」

全国から選ばれ、100年先も輝けるまちとして、次の世代にしっかりと引き継いでいく

えひめ国体・えひめ大会や子規・漱石生誕150年など、今年度迎える「節目」、松山創生人口100年ビジョン先駆け戦略を着実に進める「地方創生」、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、本市の強みである地域防災力の強化や耐震化を推し進める「防災・減災対策」という、3つの分野に注力します。

## えひめ国体、子規・漱石生誕150年記念等事業 25億円 「おもてなし」の心で本市の魅力を全国に発信

## 地方創生への取り組み 179億円 ひと、まちも輝く、100年後の松山へ

### 子規・漱石生誕150年記念事業

#### 子規記念博物館での取り組み



正岡子規 夏目漱石

新たに映像機器を導入するなど、子どもから大人まで幅広い年代の人が楽しめるよう、4月から常設展示室をリニューアルしています。また子規と漱石の友情や松山での日々、柳原極堂をはじめ友人たちとの交流を、直筆の資料などを用いながら紹介する特別企画展や記念式典などを開催します。

#### 俳句甲子園



20回を迎える俳句甲子園

20回大会記念杯を設けるなど全国大会出場校を拡大、記念ブースを開設し子規と漱石への関心を高めます。

子規・漱石生誕150年記念では「松山から世界へ そして未来へ」をテーマに、「出会い」「友情」「別れ」「功績」をコンセプトにした記念事業を行います。

#### ことばのちからイベント

正岡子規の俳句にメロディーをつけた楽曲「正岡子規のふるさとシンフォニー」のPRイベントを開催します。

#### 坊っちゃん文学賞

15回を記念し、ショートショート部門を設置するなど、「ことばを大切にすま 松山」の情報発信をさらに強化します。

#### 坂の上の雲ミュージアムでの取り組み

子規・漱石が過ごした明治時代を感じられるよう、俳句イベント「明治体感☆俳句塾」を行うほか、漱石の書簡や俳句、書画などの特別展示「松山と漱石」を開催します。

#### 国際写真俳句コンテストやシンポジウムに加えて、年間を通じて「まち歩き」しながら俳句と市内観光が体験できるイベントを開催し、観光誘客を強化します。



「正岡子規のふるさとシンフォニー」をPR

### えひめ国体・えひめ大会の成功に向けて

愛媛県で64年ぶり、一つの市では史上最多になる32競技36種目が本市で開催されるえひめ国体・えひめ大会では、市民総参加で大会を成功させ、地域を活性化します。

えひめ国体(国民体育大会)・えひめ大会(全国障害者スポーツ大会)大会の成功に向け、機運を醸成し、各競技の運営や設営、輸送計画や広報活動などを円滑に進め、全国各地からの来訪者を「オール松山」でおもてなしするための受け入れ態勢を整備します。



「オール松山」でのおもてなし体制に取り組む

### その他節目事業

#### 坂の上の雲ミュージアム開館10周年記念事業

開館10周年を記念したシンポジウムや、関係団体と協力し「没後20年司馬遼太郎展」を開催します。第31回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)

世界最大級の宇宙国際会議を四国で初めて開催し、宇宙・航空関連産業の振興と、将来を担う子どもたちの夢や関心を高めるイベントを開催します。



坂の上の雲ミュージアム

### 少子化対策

子育てを支援しつつある未来を応援します。

#### 待機児童解消に向けた環境整備

保育所や認定こども園、地域型保育事業を実施する施設などへの運営費を給付します。また認定こども園へ移行を希望する私立幼稚園や施設拡充整備を行う既存の認定こども園の支援に取り組みます。

#### 総合コミュニティセンターこども館の活性化

「笑顔のまつやま わがまち工房」での市民メンバーの提言を考慮して、「子育てひろば」を新設し、さらに魅力を創出します。

#### 子育て応援券交付

県と連携し、第2子以降出生時の紙おむつ購入を支援します。



保育環境の充実に取り組む

#### 病児・病後児保育

保護者が就労などで、小学6年生までの病気の子どものみを家庭で保育できない場合、病児保育施設で一時的に保育を行います。また、病児保育事業委託先施設の改修支援も行います。

### 移住定住対策

本市への定着と新しい人の流れをつくります。

#### 移住定住の促進

松山から東京や大阪など都市部に進学した学生を対象に、Uターン就職に向け、交流会などを通じての啓発や、地元の大学などと連携し、松山で働き生活することの魅力やウェブサイトやガイドブックを活用して伝え、若者の定住を促進します。

#### 島しょ部の活性化や交流人口の拡大

「お試し移住」のための体験滞在型交流施設「ハイムインゼルごごしま」の運営や、地域おこし協力隊の2年目の活動を引き続きサポートします。



松山の魅力や移住定住を後押し



3月にオープンしたハイムインゼルごごしま

### 地域経済活性化

中小企業を支援し魅力ある仕事と職場をつくります。

#### 資金貸付をはじめとした中小企業の支援

創業から一貫した支援を強化し、新たに創業融資への信用保証料を負担します。また事業承継を受ける事業者への補助制度を創設します。

#### 魅力ある「まつやま農業」創出

農業の担い手や新規就農者の育成に向けた現地指導や、収益性の高い品目の試験栽培などの調査研究を実施します。また農林水産物ブランドの販路を拡大します。



創業・経営・就労支援の窓口「まつやま農業」

### 暮らしと経済まちづくり

近隣市町と連携し暮らしと経済を守ります。

#### 連携中枢都市圏の推進

本市と近隣市町(伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町)で連携し、住民の暮らしと経済を守り、圏域の持続的な発展と活性化します。

#### 広域観光連携の推進

本市と東温市、砥部町の観光資源を連携し、体験型の観光を提供することで観光客の増加や滞在型観光を進めます。



イベントなどで6市町が協力

## 防災・減災への取り組み 36億円 市民が安全・安心して暮らせる災害に強いまちづくり

### 地域防災力の強化

自治体別で日本一多い防災士の養成や消防団の機能強化、自主防災組織の充実など、全国に誇れる地域防災力をさらに強化します。

#### 防災ひとづくり

愛媛大学と連携し大学生の防災士を養成、卒業後も防災の知識と実践力を兼ね備えた地域防災の牽引役として活躍できる環境整備を進めます。

#### 応急給水拠点の整備

災害時に指定避難所の小学校や中学校で、早期に給水できる態勢が取れるよう計画的に整備します。

#### 家具の転倒防止対策啓発

市内の自主防災組織などに家具の転倒防止器具などの見本を新たに配付し、地域での普及活動に役立ててもらいます。

#### 災害用資機材の整備

発電機やリヤカーなどの災害時に役立つ資機材を地域の主要な避難所である高校や大学に計画的に配備します。



大学生防災士を養成

### 耐震化の強化

将来想定される南海トラフ巨大地震に備え、上下水道設備や道路橋の耐震化や一般木造住宅、特定民間施設の耐震化を支援します。

#### 木造住宅耐震診断改修・特定建築物耐震改修支援

熊本地震や想定される南海地震に備え、利用者の増加に対応し木造住宅耐震診断・改修支援を拡充するとともに、不特定多数の人が利用するホテルや医療機関など大規模建築物所有者への耐震改修補助を行います。

#### 橋梁および上下水道施設の耐震化

緊急輸送道路に架けられている橋梁をはじめ、上下水道基幹管路・配水池、下水道管渠・処理場・ポンプ場の耐震化を着実に進めます。また、救急医療機関への給水ルートの耐震化は、計画より1年前倒して、平成29年度完了に向けて進めます。



地震に強いまちづくりを推進

### 平成29年度に注力する事業

☆=新規事業 ○=市長公約関連事業

#### ■愛護つなぐえひめ国体・えひめ大会の推進

○愛媛国体開催推進……………23億4,026万円

#### ■子規・漱石生誕150年記念事業

- ことばのちからイベント(第20回俳句甲子園、俳都松山PR分他)……………3,550万円
- 坊っちゃん文学賞運営……………3,246万円
- HAIKU(国際俳句)ブランディング(第7回瀬戸内・松山国際写真俳句コンテスト開催分)……………1,700万円
- 子規・漱石・極堂生誕150年記念……………1,143万円
- 子規記念博物館施設管理運営(「まつやま子規亭」開催分)……………600万円
- 子規記念博物館企画展示(特別企画展分)……………332万円
- ☆○坂の上の雲ミュージアム施設管理運営(明治体感☆俳句塾、特別展示「松山と漱石」分)……………89万円

#### ■その他の節目事業

- 宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)開催関連……………817万円
- ☆○松山城管理(全国城サミット開催分)……………750万円
- ☆○坂の上の雲ミュージアム施設管理運営(開館10周年記念事業分)……………192万円

#### ■地方創生

##### ■少子化対策

- 施設型給付(保育所・幼稚園・認定こども園)・地域型給付……………77億4,417万円
- 認定こども園整備……………8億8,844万円
- 子育て応援券交付……………1億5,498万円
- 病児・病後児保育……………1億1,452万円
- 子育てひろば等支援……………3,949万円
- ☆○総合コミュニティセンター建物改修(こども館活性化分)……………150万円

##### ■移住定住対策

- ☆移住定住促進(若者Uターン就職啓発分、地元大学等と連携した情報発信分)……………1,285万円
- 愛ランド里島構想推進(里島お試し移住推進事業分)……………1,241万円

##### ■地域経済活性化

- 橋の湯施設整備……………4,179万円
- 国際観光客誘致促進……………3,451万円
- 魅力ある「まつやま農業」創出(まつやま農林水産ブランド活性化対策分)……………2,006万円
- ☆○中小企業資金貸付(創業者資金融資信用保証料分)……………1,692万円

##### ■暮らしと経済まちづくり

- ☆公共施設案内予約システム再構築……………3,107万円
- 広域観光連携……………408万円
- 連携中枢都市圏推進……………149万円

##### ■防災・減災

- 地域防災力の強化
- ☆○応急給水拠点の整備(応急給水栓の設置)【上水道】……………5,633万円
- 消防水利整備(市民共有水槽整備分)……………3,030万円
- 災害用物資資機材整備……………2,468万円
- 防災ひとづくり地域創生……………582万円
- 防災士養成……………505万円
- ☆○啓発推進(家具転倒防止対策等啓発分)……………228万円

##### ■耐震化の強化

- 基幹管路の耐震化【上水道】……………21億1,841万円
- 下水道総合地震対策(管渠・処理場・ポンプ場)【下水道】……………4億3,353万円
- 木造住宅耐震改修等補助……………3億4,220万円
- 特定建築物耐震改修等補助……………5,743万円
- 橋梁補修工事(道路橋耐震化分)……………1,800万円
- 木造住宅耐震診断……………1,253万円